



体育話題提供授業 協議会記録

成果

課題&疑問

導入

展開

終末

◎準備

- ・準備が素早くできていた。
- ・教師の事前の準備があることで、スムーズにできていた。

◎言葉かけ

- ・教師が笑顔で指導していた。
「勢いがよくなっているよ。」と具体的に褒めていた。
- ・言葉かけ集を活用することで、言葉かけが明確であった。

◎場の設定

- ・自分で場を工夫することができ、楽しんで活動している様子が見られた。
- ・ケンステップがあることで、運動量の確保に繋がっていた。

◎伝え合い

- ・話型に「話す人」、「聞く人」が分けられて表示されていることで分かりやすかった。
- ・話型を活用して話すことを積み重ねることで、伝え合いが充実していくのではないか。これが培われることでアドバイスが充実していけるとよい。

◎跳の動き

- ・助走の指導までする必要があるのか。
- ・内股で跳び越える児童がいた。2年生の系統性を考えるうえで、どこまで指導するのか。

◎場の設定

- ・跳んで着地する場は、マットの下に滑り止めがあるとよかった。
- ・場によっては、大人がいなければいけないところもあった。(モンキーバナナツリー)

◎評価

- ・場の安全管理をしていると評価をどのように見ていけばいいのか。
- ・動画を撮ることで評価ができるのではないかな。

<授業者自評>

- ・「超えたい」、「もっととりたい」など、子供たちの願いをかなえたいという思いで授業を行った。
- ・「丸太を超えるために、足を曲げるといい」など、子供たちの動きからコツを引き出した。

☆「勉強になった！」ポイント☆

児童が行いたい遊びを選択したり、やりやすくなるよう、ルールやルートを変更できたりすることによって、楽しく学習することができ、達成感にも繋がっていた。また、身に付けさせたい動きを自然と身に付けられる場の設定になっていた。伝え合いの場面では、話型を活用することで上手に伝えられない児童の手立てとなっていた。1年生から繰り返し活用することで、学び方の学習にもなり、系統性を考えた指導に繋がると感じた。

指導・講評

よかったところ

☆主体的に取り組むための工夫

「ジャングル」というテーマ設定があることで、没入して活動に取り組む姿が見られると同時に、自然と技能が身に付いていた。また、レベルに合わせて場の設定を変更できることで、児童の達成感にも繋がっていた。

☆教師の言葉かけ

個々への称賛や「どうやってやったの?」と児童の言葉から引き出し、思考を促すような言葉かけがよかった。

☆学び合うための工夫

話型があることで、自分の思いを伝えることができていた。教科横断型の学習にも繋がっていく。また、友達のいいところを価値付けていけると、子供たちのよさも広がっていく。

今後に向けて

★「遊び」と「運動遊び」の違い

遊びを通して子供たちが発達していく。運動遊びでは、ねらいとする動きに遊びの要素を取り入れて行うもの。教師の身に付けさせたい動きを明確にすることが大切。

★評価について

その時間で見取りたい動きなど、ねらいのある場の設定で評価できるとよい。また、1年生で行ったことを生かし、2年生で少し経験させ、さらには中学年の運動に繋がられるように系統性を踏まえて考えていけるとよい。

キラリと光る付箋

〈テーマ設定〉

- ・「ぴよんぴよんジャングル」という設定により、児童が楽しみながら主体的に取り組んでいた。

〈場の設定〉

- ・児童が楽しめる場の設定となっていることで、自然と「できた」に繋がっていた。
- ・レベルに合わせて選択できるようになっているのがよかった。
- ・ドキドキタイムで場の楽しさを味わいつつ、わくわくタイムで選んで更に楽しんでいた。
- ・子供たちが飽きることなく、繰り返し跳び続けることができた。雰囲気や教師の言葉かけの大切さを感じた。

〈伝え合い〉

- ・話型があることで、自分の感想を発表することができていた。
- ・カードを見て、自分の気持ちを伝えられていた。また、「よかったね。」「今度見せてね。」などの返事もよかった。
- ・型があると、「どのように話したらいいか。」が分かりやすい。これを繰り返し取り組むことが大事。
- ・話し手カード、聞き手カードの活用があることで話しやすい。

今回の授業を通して、主体的に学習に取り組む姿を目指すために、児童が「やってみたい」と思うような場の設定が必要だと感じた。行いたい場を自分で選択したり、レベルに合わせて場を変更できたりすることによって、どの児童も楽しんで活動することができ、自然と主体的な姿へ繋がっていく。また、児童がわくわくするようなテーマ設定があることにより、楽しんで動きに取り組むことができ、学習への意欲を高められると感じた。どの児童にも楽しさを味わわせることができるように、手立てを取り入れて授業作りを行っていきたい。